

●北海道の住まいと技術の歴史

戦前は本州仕様の住宅が主流でした。戦後になると北海道の寒さ、資源に配慮した住宅が登場し、1990年頃には北海道の気候・風土に根差した豊かな暮らしを実現する住宅として「北方型住宅」が誕生しました。



戦前の住宅



1960年頃の住宅



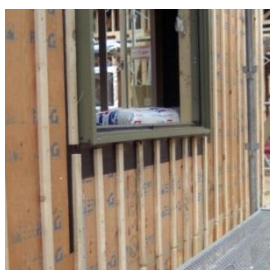
1990年頃の住宅



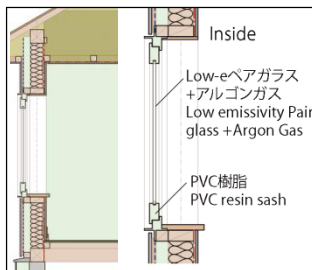
2000年頃の住宅

●失敗しない家づくりのポイントは？

これからの暮らしを長い目で見るのが重要になります。家が丈夫で長持ちすること、安心・快適であることはもちろんですが、毎年の除雪の負担を減らす工夫、家族・身体の変化を考慮し、地域資源を活用することも大切です。



通気工法



高断熱・高気密



除排雪への工夫



地域材の活用

●「きた住まいる」を活用しましょう！

北海道には、安心で良質な家づくりを行う住宅事業者を登録する制度「きた住まいる」があります。良質な住宅に対するお得な制度も活用して、素晴らしいマイホームを手に入れましょう。

「きた住まいるメンバー」がつくる家は、3つのルールを守った安心な家！

ルール①

省エネ・耐久・耐震といった**基本性能の確保**

省エネ性能 断熱等 性能等級 4以上 一次エネルギー 消費量等級 4以上	耐久性 劣化対策 等級 3以上	耐震性能 新築住宅/ 平成12年基準以上 既存住宅/ 昭和56年基準以上
--	--------------------------	--

※日本住宅性能表示基準に規定する等級。

ルール②

BIS^{*1}やBIS-E^{*2}などの
専門技術者による設計・施工

※1: 建築物の温熱環境要件に関して高度な専門知識を有し、正しい設計、精度の高い施工法等を指導できる技術者。
※2: 住宅等の適切な断熱・気密施工技能を有し、これを指導できる技術者。
詳しくは、<http://www.hobeia.or.jp>をご覧ください。

ルール③

設計や施工など
家づくりに関する
記録の保管



きた住まいる

きた住まいる

検索